

## 産業能率大学 情報マネジメント学部

基礎数学Ⅱ(数学リテラシー)	履修年次	1	
	単位	2	
和泉 正明、丹羽 恵理子	配当期	後	
	授業方法	講義 / 対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>現在の私たちの便利で快適な暮らしを支える科学・技術を、もう一段深いところで支えているのが数学なのである。さらに、科学・技術のみならず、デザイン、金融、産業、…、あらゆる領域に数学が入り込んでいる。このような中、文系の学生にとっても数学は無視できない科目になっているのである。</p> <p>さて、これから大学で数理的な手法を必要とされる科目の授業を受けるに際して、高校で学習した基礎となる数学の知識と技能(数学リテラシー)をもう一度整理し、復習しておくべきである。この授業は、高校数学の中から基本的で重要な項目を抽出し、必要とすることがらを短時間で能率よく学習していく。</p> <p>ところで、あまり数学を勉強してこなかった人や数学が苦手な人もいることと思う。とくに、中学で学んだ数学に不安を抱いている人は、まず「基礎数学Ⅰ」を履修してほしい。この授業の内容を理解するには、「基礎数学Ⅰ」で学ぶレベルの知識と能力が必要になるからである。授業外学習の指示・提出は manaba で行う。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の基本的な知識や能力(数学リテラシー)を有し、問題を自力で解くことができる。</li> <li>・記述式問題の答えを論理的飛躍なしに正しい日本語で書くことができる。</li> <li>・大学で学ぶ数理的技法習得の前提となる力を身につけ、最終的には発展的な問題に応用させることができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
定期試験、授業出席、授業外学習、小テストから下記のウェイトで評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	「基礎数学Ⅱ」の授業内容について	8	正弦定理と余弦定理
2	数・平方根・累乗根の計算	9	1次関数と2次関数
3	指数・対数・複素数とその計算	10	三角関数、指数関数、対数関数
4	代数式とその計算	11	有限集合の要素の個数
5	方程式とその解き方	12	場合の数と順列
6	不等式とその解き方	13	組合せと二項定理
7	三角比—図形と計量	14	確率の基本と考え方